



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.88
六甲発！女子高生の環境啓発活動
発行/谷口 理
2010年7月発行



TAPプロジェクトの活動

第88回テーマ： 六甲発！ 女子高生の環境啓発活動

講演内容

- コップ一杯の水募金【TAPプロジェクト】の啓発活動
- ブルーアースプロジェクトの多彩な活動
- 「社会をデザインする」先駆の試み

実施日：平成22年7月17日（土）
午後1時～3時45分
場所：六甲山自然保護センター



講師：谷口 理さん
プロフィール

1957（昭32）年生まれ、52歳、神戸市出身。昭和50年私立灘高等学校卒、昭和55年早稲田大学教育学部卒。平成20年第2回文部科学大臣優秀教員表彰、第56回読売教育賞。学校法人松蔭女子学院 松蔭中学校・高等学校 進路指導部長。早稲田大学客員研究員（女性のキャリア形成支援）

ピカピカ隊の応援で盛況

午前中の環境整備の定例活動は、イベント清掃ピカピカ隊23名が参加されて総勢34名になり、近畿自然歩道やアセビ実験区のササ刈りと植生調査などを行いました。

午後も快晴で記念碑台から大阪湾が眺望でき、セミナー参加者も37名と盛会で、笑顔で夏の半日を過ごしました。

谷口さんは新しい教育の先駆者

松蔭高校・進路部長の谷口さんは全く新しいキャリア教育の先駆者です。「責任ある社会人として生きていく意識と力を身につけよう！」と、同校でチャレンジプログラムを推進され、全国的に高い評価を集めておられます。

6年ほど前、谷口さんから当会に「森の手入れを体験できる所はないか」という問い合わせがありました。それ以来、活動発表の案内メールをいただき、環境問題への取り組みを深め、活動を広げられることに感心していました。



卒業生と一緒に講演

市民セミナーには卒業生も同伴され、ブルーアースプロジェクトやTAPプロジェクトの生の体験をご披露いただきました。宮城県から支援されているTOTOのスタッフが、島根県からは市民性教育を推進される先生も遠路参加されました。穏やかな物腰の谷口さんの「女子校生が社会を変える」に共感し、「ほんもの」だと感銘を受けました。

女子高生の環境啓発活動に敬服

松蔭高校のチャレンジプログラムは、進路がほぼ決まった3年生の3学期を有意義に過ごすための試みとして定着しています。社会や世界の課題を見つけ、学校から飛び出して社会に働きかけるのが主旨です。社会人として生きる根本ですが、女子高生が見事に実践しているのは驚異的でした。

チャレンジプログラムに参加した女子高生は、戸惑い悩みながらプロジェクト活動を達成し、行政責任者やマスコミなどに体験発表をします。社会に関わる課題は、水、いのち、福祉、森林、飢餓、貧困、温暖化と多岐です。その中で高校生ができることをテーマに、「元気で明るく」をモットーに多彩な活動を実践しています。今回参加された2名の卒業生はBlueEarthProject 大学部（プロジェクトOG約100名）の一員で、今も活動を継続しています。

世代に応じた一人ひとりの実践が必要

私たちを取り巻く環境に関する問題は大きくしかも複雑です。ややもすると無力感に陥ります。女子高生の実践は真夏の清涼剤として勇気づけてくれました。

熟年者で社会貢献されるピカピカ隊との出会いも貴重でした。明るく有意義な半日でした。



さらに交流を祈念して

※詳しくは、1・2ページをお読みください。

参加の感想 錦織 教子さん

島根県から参加しました。高校の家庭科教員をしており、市民性（Citizen Ship）教育が個人的なテーマです。高校生の社会貢献の可能性を探りたいと思っており、今回は8月に本県教育委員会の研修会に基調講演の講師として招聘した谷口先生のお話を聞くのが目的でした。



板持さんと錦織さん

Blue Earth Project の活動はもちろん期待以上でしたが、意外なことに（？）ピカピカ隊を初めとする皆さんと交流できたのが思わぬ収穫でした。市民性教育は生涯教育に通じることを実感したひとときでした。（にしこり りこ）

【助成金をいただいている機関】

セブンイレブン記念財団、大阪コミュニティファンド（東洋ゴムグループ環境保護基金）、子どもゆめ基金、コベルコ自然環境保全基金、コープこうべ環境保護基金

主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局、灘区役所、神戸市教育委員会